

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービスえがお		
○保護者評価実施期間	令和6年 9月 10日 ～ 令和6年 10月 10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20 (回答者数)	11
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 1日 ～ 令和6年 10月 26日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 10月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムが固定されず色々な事が経験できる	療育で役立ちそうな事は立案してもらう 機会をつくっています	
2	利用者同士が仲良く過ごせていて、 楽しみに通ってもらえている	発表会やイベント時に子供たちで意見を出し合ったり 割を決めクイズやゲームを協力し合って 上げる機会を作っている	グループ分けして、大きな子が小さな子の 伝いをしてあげる等、楽しみながら学んだり 験を増やしていく
3	相談の申し入れをした際に、適切に対応できている	保護者の方と送迎時や、電話等で子どもの様子や 本人が頑張っている事などを伝え合っています。 また課題や出来ていった欲しい事を聞き取っています	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の実施が難しい	感染症対策で児童以外の出入りを減らしています。 日々の療育の準備が忙しく時間を作るのが難しい	感染症対策をしながらも、実施できるように検討していく利用 が少ない時間帯に検討してみる
2	地域の他の子どもと活動する機会が出来ていない	公共施設での活動は取り入れており 人の方と接点はあったが の子どもと関われる 時間帯が不明確で機会が少ない	大 地域 近くの公園に行く際に検討してみる。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 令和6年10月30日						
放課後デイサービスえがお		利用児童数			20名		回収数	
							11名	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10			1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10			1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	3	3		交流機会が少ないように思う。	公園・図書館・お買い物体験などで今以上に交流できる機会を提供できるように検討いたします。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3		1	家族が参加できる研修会に参加したい	研修会や、交流会を実施していけるように検討いたします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	4	3	イベント時に親子一緒に参加したい	感染症対策を考慮しながら、実施していけるように検討いたします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	11					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後デイサービスえがお		令和 6 年 1 0 月 3 0 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		活動の多いプログラムの時は、机の配置を考慮しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9		多めに配置できるように努めています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		階段に手すりをつけたり、段差をなくす配慮をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		清潔で明るい環境になるよう努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		必要に応じて対応しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		朝礼や会議で話し合いをしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		職員で改善点を話し合い改善できるよう努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		朝礼で意見を聞き取り、対応策をみんなで出し合っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9	実施していない。	現段階では内部の評価のみですが、今後は第三者による評価を検討して参ります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		事業所内で3カ月に1度研修を行っております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		毎月通信で行っています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		アセスメントでの聞き取りを元に、しっかりと考慮して作成をしています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		会議で支援内容を職員で話し合ったうえ、作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		支援内容は一人ずつ利用時に連絡帳に添付して分かりやすくしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		標準ツールを使用していますが、必要に応じてツールの改善をしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		支援内容は本人の特性を把握して、身体的・精神の適切な発達を促していく事ができるように考慮して作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		チームで利用者個々の発達や特性を考えながら行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		曜日固定にする事なく、一人一人が様々なプログラムに参加できるようにしています。	

提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		個別・集団活動とアセスメントを元にそれぞれ考えて作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		朝礼を毎日行い、当日の支援内容を確認し補足がある場合も都度共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		支援終了後にその日の出来事を振り返りと気付きを共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		児童一人ひとりの様子を日々記録し、会議でみんなで話し合いを行い支援の見直しや改善を日々しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		定期的に会議を実施して、児童の様子・成長・変化などを共有してモニタリングと個別支援計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9		日常生活を充実させるために、自立できるように支援を行い、学習や工作・絵画・公園・図書館・おでかけ等を組み合わせ支援をしています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		プログラム活動や遊びを通して、自己選択や自己決定ができるように工夫して支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		担当者会議などに、児発官や担当職員が参加して意見交換や情報共有をしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		各関係機関と連携し、担当者会議の参加や情報提供や収集ができるように努めています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		日々の送迎時やお電話などで、情報共有と連絡調整を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		就学前の様子をお聞きしたり、支援の内容などの情報収集ができるように努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		卒業前に会議へ参加し、当事業所での支援内容や様子などを細かくお伝えしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9		必要に応じて相談・助言・研修を受けていきます。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9		近くの公園や図書館などで地域の子供達と交流できるように努めています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9		機会があれば参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		毎日必ず送迎時に事業所での児童の様子をお伝えし、出来たこと・課題などの情報の共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	7	感染症対策の兼ね合いなどで、家族が参加できる研修などは行えておりませんが、ご家族のご相談がないかをお聞きしたり、相談の援助ができるように努めています。	ご家族が参加できる研修や、家族支援プログラムを実施できるようにしていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に重要事項説明書などを用いて、利用者負担額やプログラム・送迎・運営規程の事などの説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		保護者の方が気軽に相談できるように、送迎時やお電話できるように連絡体制を整えております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		保護者の方からお聞きしたアセスメントを元に、個別支援計画を作成し必ず説明して同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		随時相談できる体制を整え、助言などを行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	8	感染症対策の兼ね合いで実施していません。	参加型の行事や交流機会の実施は、感染症対策の情勢を考慮しながら検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		苦情相談窓口を設置しており、契約時にご説明させて頂いております。苦情があった際は迅速に対応させていただいています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		毎月えがお通信を発行して、活動概要や行事予定などをお伝えしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		鍵付きの書庫に保管しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		障害特性に合わせ配慮して実施しています。特性に合わせ視覚での支援や、筆談での支援などを行い、保護者の方に伝わるように情報提供をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7	感染症対策として招待した行事などは実施していませんが、地域の方と交流できるように公園・図書館・お買い物体験などを実施しています。	感染症対策を徹底しつつ、地域活動の実施に向けて努めてまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		各種マニュアルを策定し、職員全員に研修や避難訓練で周知しています。保護者様にもマニュアルの内容を周知してもらえる様になっています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		業務継続計画（BCP）を策定し、研修と委員会を開催しています。定期的な避難訓練を実施し実際に起きたと仮定して役割・避難・救出などの訓練をしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		アセスメントでの聞き取りをする際に、服薬やてんかん等の児童に関わることを、お聞きして職員間で情報共有をしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		アセスメントでの聞き取りをする際に、アレルギー等の児童に関わることを、お聞きして職員間で情報共有をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全計画を策定し、計画を通り屋内の安全確認や屋外の安全確認、避難訓練・研修などをして安全に支援ができるようにしています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		各種マニュアルを保護者様に周知するほかに、非常災害発生時の連絡手段などの情報をお伝えしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		会議の際にヒヤリハット報告書を定期的に振り返り、再発防止に努め、職員全員に情報の共有ができるようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		虐待防止委員会を設置し、研修を実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		身体拘束マニュアルを策定し職員全員に周知している。また研修時にもやむを得ず行うことが認められる場合の確認を職員に説明している。保護者の方や児童に適切な予防策を話し合い、個別支援計画に活かせるように努めている。	